

追跡!

【第17弾】

過去に行われた、一般質問の結果を検証します。

どうなった? 一般質問

質問

地域防災力の充実強化は、消防団員定数の削減で地域防災力の充実強化への考え方は。

平成28年9月議会

回答

団員数の減少により心配される消防力の低下は、機能別消防団員制度を導入し、昼間の初動体制を補充させます。

結果



機動演習風景 (議会だよりNo.67号掲載)

平成29年度に機能別消防団員として、役場消防隊を職員10人で編成しました。社会情勢の変化により、今後も対応していきます。

質問

「空家問題」解消の抜本的な施策は、空家対策は今後増加の一途をたどり、喫緊の課題です。解消に向けての施策は。

平成29年9月議会

回答

空家相談会を開催し、適正管理に関する条例も制定します。また、空家対策協議会で具体的な施策を検討しています。今後、空家バンクの設置を進めます。

結果



空家調査 (議会だよりNo.71号掲載)

継続的に空家相談会を開催しています。令和2年度から空家の除去を支援するための補助金を創設しました。

質問

どうする少子化対策、人口減少対策を、人口減少に歯止めをかけるための少子化対策、人口減少対策は。

平成31年3月議会

回答

雇用の場を作ることが最重要であると考え、優良企業の進出、地域バス路線や名古屋圏への高速道路バス停等を検討し定住確保に努めます。

結果



町に進出する企業 (議会だよりNo.77号掲載)

企業誘致は継続的に行っています。安八穂積間バス路線は利用が少ないためPRの拡充に努めています。高速道路のバス停は検討中です。

質問

「勤労青少年ホーム」の利活用は、住民の利便性が損なわれている。今後「北部コミュニケーションセンター」としての再生は可能か。方向性の結論を明確に

平成31年3月議会

回答

早い段階での対応は困難ですが、できれば2力年の間に方向性を明確にしたいと考えています。

結果



再生が望まれる勤労青少年ホーム

建物の劣化診断を行っています。調査結果を踏まえて改修を行い、有効に活用する方向性を検討します。